

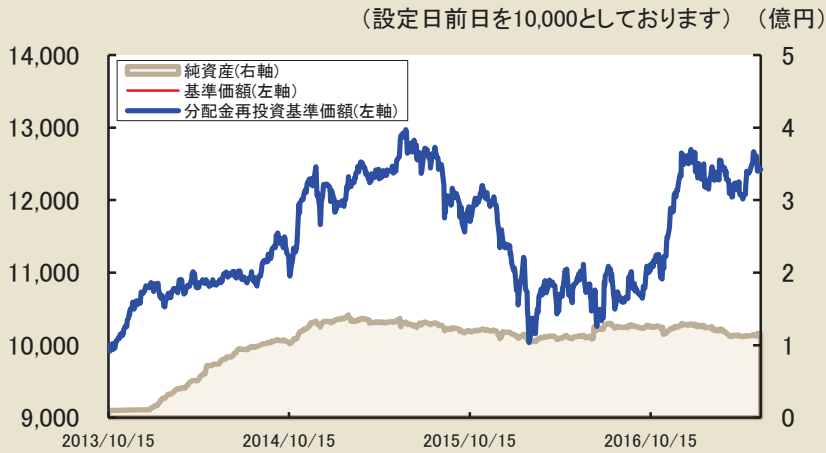


新光グローバル・ハイールド債券ファンド (年1回決算型)

設定日 2013年10月16日 決算日 原則 9月25日

2017年5月25日現在

基準価額の推移(2013年10月16日～2017年5月25日)



- ・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
- ・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものとして計算を行い表示しています。

基準価額

- ・基準価額および前月比は分配落後です。
- ・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

2017/5/25	前月比	2017/4/25
12,426 円	1.9 %	12,192 円

基準価額の騰落率

- ・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものとして計算を行い表示しています。

1カ月	1.9 %
3カ月	1.0 %
6カ月	4.6 %
1年	13.3 %
3年	14.3 %
5年	— %
設定来	24.3 %

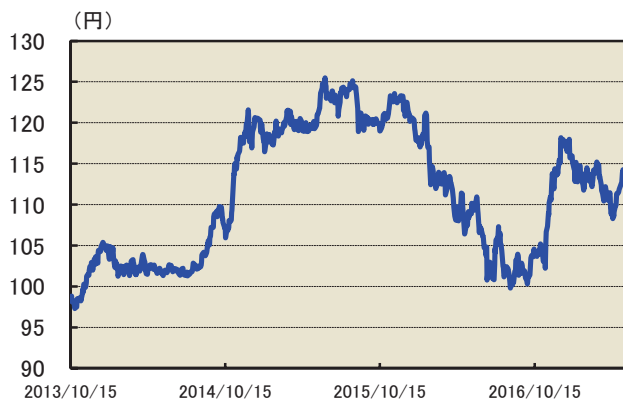
資産構成

内訳	2017/5/25	2017/4/25
投資信託証券	96.4 %	95.6 %
その他資産	3.6 %	4.4 %
純資産	115 百万円	113 百万円
元本	93 百万円	92 百万円

分配金の推移 (1万口当たり、税引前)

2016年9月	0 円
2015年9月	0 円
2014年9月	0 円
—	— 円
—	— 円
—	— 円
設定来合計	0 円

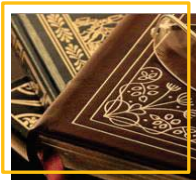
為替(ドル/円)の推移(2013年10月16日～2017年5月25日)



出所 三菱東京UFJ銀行のデータを基に作成しています。

上記のグラフデータは過去のものであり、通貨および当ファンドの将来の利回りや値動きを示唆・保証するものではありません。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みに際しての留意事項」をよくお読みください。



新光グローバル・ハイイールド債券ファンド (年1回決算型)

このページは、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーが作成したデータを基に記載しております。

2017年5月25日現在

『WAグローバル・ハイイールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド』2017年5月24日の内容

構成比率

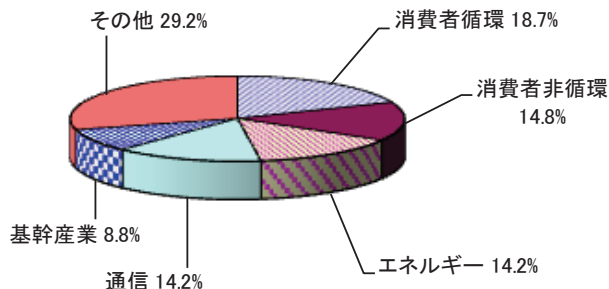
公社債組入比率	98.2%
キャッシュその他	1.8%

ポートフォリオの状況

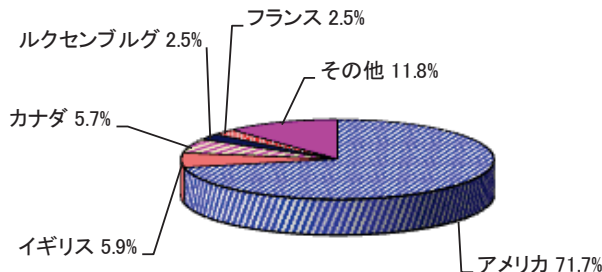
デュレーション(年)	5.10
最終利回り(%)	6.15
平均クーポン(%)	6.45
平均残存年数(年)	7.02
S & P 平均信用格付け	BB-
Moody's 平均信用格付け	Ba3

・「最終利回り」は、キャッシュを含めたものです。
 ・「最終利回り」は、投資対象資産の特性を理解していただくために表示しており、当ファンドへの投資で得られる「期待利回り」を示すものではありません。

公社債の業種別構成比率



公社債の国・地域別構成比率



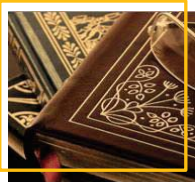
公社債の組入上位10銘柄

銘柄名	クーポン	償還日	セクター	構成比率
1 SPRINT CORP	7.875%	2023/09/15	通信	1.32%
2 SPRINT CAPITAL CORP	8.750%	2032/03/15	通信	1.04%
3 VIRGIN MEDIA SECURED FIN	5.500%	2026/08/15	通信	0.93%
4 NUMERICABLE-SFR SA	7.375%	2026/05/01	通信	0.92%
5 OCP S.A. (144A)	5.625%	2024/04/25	基幹産業	0.91%
6 TENET HEALTHCARE CORP	8.125%	2022/04/01	消費者非循環	0.86%
7 CIT GROUP INC	5.000%	2023/08/01	金融(金融会社)	0.82%
8 PACTIV CORP	8.375%	2027/04/15	一般資本財	0.80%
9 MIRANT MID ATLANTIC TRST	10.060%	2028/12/30	公益(電力)	0.75%
10 MPH ACQUISITION HOLDINGS	7.125%	2024/06/01	金融(保険)	0.74%

組入公社債銘柄数 360銘柄

・ポートフォリオの状況は、ファンドの組入公社債・その他(キャッシュ等)の内容を、その組入比率で加重平均したものです。
 ・S&P平均信用格付けおよびMoody's平均信用格付けは、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーからの情報に基づいて記載しております。
 ・S&P平均信用格付けおよびMoody's平均信用格付けは、「WAグローバル・ハイイールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド」および「新光グローバル・ハイイールド債券ファンド(年1回決算型)」に係る信用格付けではありません。
 ・業種・セクターはウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーの分類規定に基づいています。同規定に従い、同一銘柄においても業種・セクターが変更される場合があります。
 ・各公社債の構成比率はいずれも組入公社債を100%とした場合の比率です。比率は、各項目ごとに四捨五入しておりますので合計が100%とならない場合があります。
 ・上記グラフおよび数値は、過去の実績を示したものであり、将来の動向や当ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・上記グラフおよび表には、企業・債務再編等に伴って取得することになった株式等の未売部分が含まれている場合もあります。
 (*: 公社債の組入上位10銘柄に該当した場合に付与しています)

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みに際しての留意事項」をよくお読みください。



新光グローバル・ハイイールド債券ファンド (年1回決算型)

2017年5月25日現在

ファンドマネージャーのコメント ・あくまで作成時点での見解等を開示したもので、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。

ハイイールド債券市場の概況およびWAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンドの運用経過

ハイイールド債券市場は上昇(利回りは低下)しました。4月下旬から5月中旬にかけては、ハイイールド債券市場は概ね横ばいで推移しました。その後、米国の政治リスクへの警戒感などが嫌気される場面もありましたが、米国株式市場が堅調に推移するなか、5月下旬にかけてハイイールド市場は上昇しました。

WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンドでは、概ね従来の運用方針を継続しました。地域別では米国を選好したほか、信用格付け別では、CCC格などの低価格付銘柄を中心にしつつも、BB格のような上位格付銘柄の組み入れを増やしました。セクター別では消費者関連、資源エネルギーなどを中心としたポートフォリオを維持しました。

為替市場の概況

【米ドル】

米ドルは円に対して上昇しました。5月中旬にかけては、米国国債利回りが上昇し、日米金利格差が拡大したことから米ドル買いの動きとなりましたが、その後、米国政権とロシア政府との関係を巡る疑惑を背景に米国政治の不透明感が高まると、米ドルは対円での上昇幅を縮小しました。

今後のハイイールド債券市場の見通しおよびWAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンドの運用方針

世界経済は、欧州や日本が緩和的な金融政策を継続するなか、金融政策の正常化を進める米国経済がけん引役となり、緩やかに回復に向かうとみられます。こうした環境で、企業業績が堅調に推移していることや、デフォルト率が歴史的な低水準で推移すると見込まれることから、ハイイールド債券市場は安定的に推移すると予想されます。

今後につきましては、ハイイールド債券のスプレッドが縮小傾向を示すなか、格付け別のウエイト調整よりは、投資対象セクターの選択がより重要になると考えています。また地域別では、米国への選好を維持しながらも、世界的に緩和的な金融政策が続くなか、新興国にも投資的魅力が出てきたと考えています。今後とも市場動向を見据えつつ、地域、セクター、格付けなどの側面から柔軟な取捨選択を行い、投資リターンを追求する方針です。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みに際しての留意事項」をよくお読みください。



新光グローバル・ハイイールド債券ファンド (年1回決算型)

当資料のお取り扱いに関する注意事項

- ※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。
- ※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。
- ※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。
- ※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。
- ※購入のお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただき、投資に関してはご自身でご判断ください。また、あらかじめ交付される契約締結前交付書面など(目論見書補完書面を含む)の内容をよくお読みください。

投資信託のお申し込みの際の留意事項

- 投資信託は、預金や保険契約ではなく、預金保険制度、保険契約者保護制度の対象ではありません。
 - 投資信託は登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 投資信託は、元本の保証はありません。
 - 投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
 - 当資料はアセットマネジメントOneが作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- 信頼できると考えられるデータなどに基づき作成していますが、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。予告なく当資料の内容を変更する場合があります。



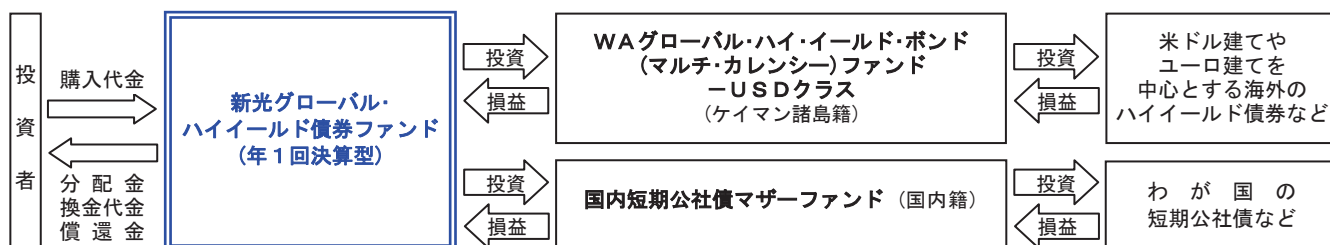
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド (年1回決算型)

当ファンドは、外国籍の投資信託証券を通じて、主として外貨建てのハイイールド債券に投資する一方で、当該資産の発行通貨(米ドルを除く)を売り予約し、米ドルを買い予約する為替取引を行います。実質的に組み入れた債券の値動きや信用状況の変化、為替相場の変動などの影響により基準価額が変動しますので、これにより投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、当ファンドは元本が保証されているものではありません。

ファンドの特色

1. 主として海外の高利回り社債(以下「ハイイールド債券」といいます。)に実質的な投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。

- ◆ケイマン諸島籍外国投資信託「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンドーUSDクラス」(以下「ハイイールド・ボンド・ファンド」という場合があります。運用：ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー)と国内投資信託「国内短期公社債マザーファンド」(運用：アセットマネジメントOne株式会社)を投資対象とするファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。



- ◆各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、ハイイールド・ボンド・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。
- ◆ハイイールド・ボンド・ファンドでは、原則として米ドル以外の投資対象資産の発行通貨を売り予約し、米ドルを買い予約する為替取引を行います。
※投資対象とするハイイールド・ボンド・ファンドにおいて、効率的な運用を目的として、市場金利や企業の信用状態に関連するデリバティブ取引を行う場合があります。
- ◆アセットマネジメントOneが設定・運用する特定のファンドとの間においてスイッチングができる場合があります。
※スイッチングのお取り扱いの有無や対象ファンドなどは、販売会社により異なりますので、詳しくは販売会社でご確認ください。

当ファンドの資金動向、市況動向などによっては、また、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

2. 原則として、年1回(毎年9月25日。休業日の場合は翌営業日。)の決算時に、収益の分配を行います。

- ◆分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)などの全額とします。
 - ◆分配金額は、基準価額水準や市況動向などを勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。
- ◇運用状況により分配金額は変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

[収益分配金に関する留意事項]

- ◎投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- ◎分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ◎投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。



新光グローバル・ハイイールド債券ファンド (年1回決算型)

ファンドの主な投資リスク

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある有価証券などに実質的に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産に実質的に投資した場合、為替相場の変動などの影響も受けます。
これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

信用リスク	公社債などの信用力の低下や格付けの引き下げ、債務不履行が生じた場合には、当該公社債などの価格は下落し、時には無価値になることもあります。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。 特に当ファンドにおいては実質的な主要投資対象がハイイールド債券となることから、投資適格の債券に投資する場合と比較して、信用リスクが高くなります。
流動性リスク	有価証券などを売買する際、当該有価証券などの市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができない可能性があります。特に流動性の低い有価証券などを売却する場合にはその影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
金利変動リスク	公社債の価格は、金利水準の変化にともない変動します。一般に、金利が上昇した場合には公社債の価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
為替変動リスク	外貨建資産は、為替相場の変動により円換算価格が変動します。一般に、保有外貨建資産が現地通貨ベースで値上がりした場合でも、投資先の通貨に対して円高となった場合には、当該外貨建資産の円換算価格が下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。 当ファンドが主要投資対象とする外国投資信託では原則として、米ドルを買い予約する為替取引を行うため、当ファンドの基準価額は実質的に米ドルの為替変動の影響を受けます。ただし、為替取引の状況によっては外国投資信託が保有する有価証券の発行通貨の影響を受ける場合があります。米ドルの金利が実質的な投資対象資産の発行通貨の金利よりも低い場合には、その金利差相当分のコストがかかります。
カントリーリスク	投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制などの要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
特定の投資信託証券に投資するリスク	当ファンドが組み入れる投資信託証券における運用会社の運用の巧拙が、当ファンドの運用成果に大きな影響を及ぼします。また、外国投資信託を通じて各国の有価証券に投資する場合、国内籍の投資信託から直接投資を行う場合に比べて、税制が相対的に不利となる可能性があります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。



新光グローバル・ハイールド債券ファンド (年1回決算型)

お申込みメモ	
商品分類	追加型投信／海外／債券
購入単位	(当初元本1口=1円) 購入単位は販売会社またはお申込コースにより異なります。 お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」の2コースがあります。ただし、販売会社によってはどちらか一方のみの取り扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社またはアセットマネジメントOneにお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(当ファンドの基準価額は1万口当たりで表示)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時までとし、当該締切時間を過ぎた場合の申込受付日は翌営業日となります。 ※申込締切時間は販売会社によって異なる場合があります。
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
スイッチング	販売会社・委託会社の休業日および購入・換金申込不可日を除き、いつでもお申し込みできます。 ・スイッチング価額: 購入価額／換金価額と同じ ※スイッチングのお取り扱いの有無や対象ファンドなどは、販売会社により異なりますので、詳しくは販売会社でご確認ください。
購入・換金 申込不可日	以下に定める日には、購入・換金・スイッチングのお申し込みの受付を行いません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行の休業日 ・ロンドンの銀行の休業日 ・ケイマンの銀行の休業日
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチングのお申し込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金・スイッチングのお申し込みを取り消す場合があります。
信託期間	2028年9月25日まで(2013年10月16日設定)
繰上償還	受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合などには、繰上償還することがあります。また、当ファンドが主要投資対象とするハイールド・ボンド・ファンドが償還した場合または商品の同一性が失われた場合は、当ファンドを繰上償還します。
決算日	毎年9月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 ※「分配金再投資コース」を選択された場合の分配金(税引後)は自動的に無手数料で全額再投資されます。
課税関係	収益分配時の普通分配金ならびに換金時・スイッチング時の値上がり益および償還時の償還差益に対して所定の税率により課税されます。当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「愛称:ジュニアNISA(ジュニアニーサ)」の適用対象です。 ※税法が改正された場合などには、課税上の取り扱いが変更になる場合があります。

ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用	
購入時	購入時手数料 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、 3.24%(税抜3.0%) を上限として、販売会社がそれぞれ独自に定める手数料率を乗じて得た額となります。詳しくは販売会社またはアセットマネジメントOneにお問い合わせください。
換金時	信託財産留保額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対し 0.3% を乗じて得た額を換金時にご負担いただきます。
スイッチング時	スイッチング手数料 購入時手数料の上限率の範囲内で、販売会社がそれぞれ独自に定めるスイッチング手数料率をスイッチング価額に乗じて得た額となります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 ※スイッチングの際には、別途換金時と同様の費用・税金がかかります。
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
保有期間中	運用管理費用(信託報酬) 投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた実質的な信託報酬の総額は、日々のファンドの純資産総額に対して 年率1.6664%(税抜1.58%)程度 となります。 (上記は、ハイールド・ボンド・ファンドを100%組み入れた場合の信託報酬の総額を示しています。) ・当ファンド: 年率1.1664%(税抜1.08%) ・ハイールド・ボンド・ファンド: 年率0.50%程度 ただし、ハイールド・ボンド・ファンドの信託報酬の中には取引頻度に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、ハイールド・ボンド・ファンドにおける取引頻度や資産規模などにより上記料率を上回る場合があります。 ・国内短期公社債マザーファンド: ありません。
	その他の費用・手数料 監査法人に支払うファンドの監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などを、その都度(監査報酬は日々)、投資信託財産が負担します。また、ハイールド・ボンド・ファンドにおいても、有価証券などの売買手数料、監査報酬、弁護士費用および登録機関兼名義書換代理人費用、当初設定にかかる諸費用などがかかります。 ※「その他の費用・手数料」については、定率でないもの、定時に見直されるもの、売買条件などに応じて異なるものなどがあるため、当該費用および合計額などを表示することができません。

◎手数料などの合計額については、購入金額や保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
◎詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)、運用報告書などでご確認ください。
◎購入のお申し込みの際は、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

委託会社、その他の関係法人

- 委託会社: アセットマネジメントOne株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
ファンドの運用の指図などを行います。
- 受託会社: 三井住友信託銀行株式会社 ファンドの財産の保管および管理などを行います。
- 販売会社: 募集・販売の取り扱い、投資信託説明書(目論見書)などの書面の交付、換金申込の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・換金代金・償還金の支払いなどを行います。

アセットマネジメントOne株式会社 コールセンター 0120-104-694 (受付時間は営業日の午前9時~午後5時です。)
インターネット ホームページ <http://www.am-one.co.jp/>



新光グローバル・ハイイールド債券ファンド (年1回決算型)

販売会社一覧

販売会社名	登録番号	加入協会
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号	日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
大山日ノ丸証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第5号	日本証券業協会

この一覧表は、各販売会社より取得した情報を基に作成しています。

(順不同)